

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： 定通サッカー 専門部
策定日： 令和 4 年 4 月 11 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- 大会参加予定校の20%以上の学校が、参加を辞退した場合、大会は中止する。
また、府内の感染状況によっては20%の辞退校がでない段階でも中止とする場合がある。
但し、上位大会に繋がる場合はこの限りでない。

2、大会参加条件について

- 入会参加者に2週間前から健康管理を行い、入会当日は選手及びナーム関係者に健康チェックシートを提出させる。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- (まず、当日の朝の検温にて37.5℃以上の発熱時は参加を自粛させるよう参加チームへ周知徹底する。)
- 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者(機関)に連絡し、帰宅(受診)を促す。

4、大会申込後に出場を辞退する学校(チーム)がでた場合の対応

- 抽選会前に、辞退が決定した場合は、参加申込の取りやめとし、参加料は返還する。
- 抽選会后(大会期間中を含む)に、辞退が決定した場合は、再抽選はせず、不戦敗とする。なお、参加料は返還しない。

5、学校(チーム)応援者・観客について

- エントリメンバー以外でも、部に所属する生徒は来場可。
- 来場者については、感染状況に応じて、制限する。
- 発声を伴う応援は禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

○ 会場において

- 更衣は素早く済ませ、更衣室から早く出る。更衣室が狭い場合は、更衣の順番のローテーションを組む等の工夫をし、他チームと接触しないようにする。更衣終了後は窓やドアを開放する。

○ 競技において

- ミーティングは、回数・時間を減らす、もしくは行わない。
 - 円陣(試合前ミーティングにおける士気高揚のための円陣、キックオフ・PK戦の直前の円陣を含む)については、次の条件付きで認める。①社会的距離(最低1m)を確保している、②2人以上が同時に発声しない、③一人のみが大きくない声で話す。
 - 握手やハイタッチ等を行わない。
 - 試合開始前、選手・審判が1m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。コイントスは、主審と両チームのキャプテンにより行う。相手チーム・審判への握手はしない。
 - チームの集合写真撮影は可とするが、社会的距離(最低1m)を保つ。
 - ボトル、タオル等を他者と共有しない。(気温等に関係なく、前後半とも飲水タイムを設定する)
- ### ○ 役員・その他において
- 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手等はマスクを着用する。(ただし、指示を与える場合を除く)
 - チーム責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指導すること。